



週刊原油



世界の原油情報がここに凝縮されています。
毎週木曜日午後発行

発行日 : 2011/9/1

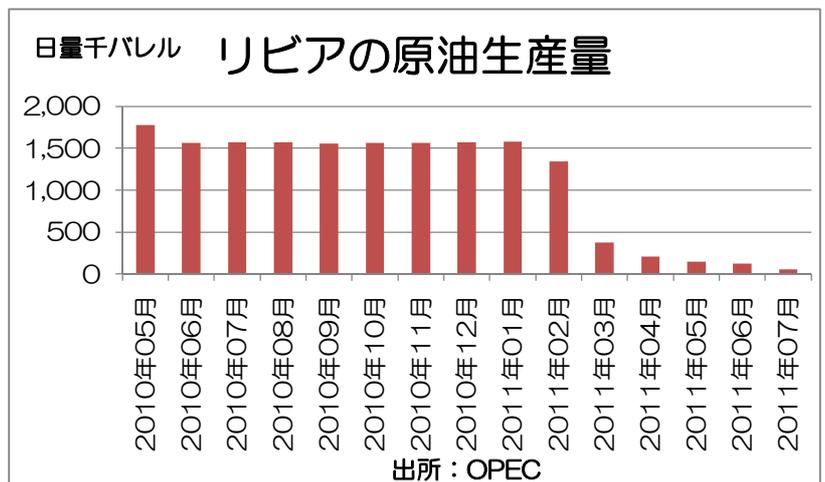
NY原油88ドルで横ばい



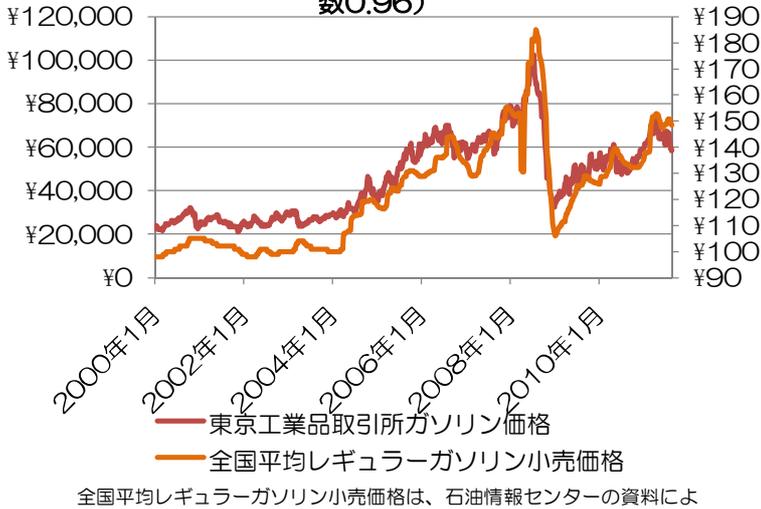
31日のNY原油10月限は0.09ドル安の88.81ドル。米株相場の上伸などを好感した買いが入る半面、ドル高や米原油在庫増を嫌気した売りも出て、売り買い交錯後に弱もちあいで取引を終えた。時間外の電子取引では一時下落。この日発表の米エネルギー情報局（EIA）の週報を控える中、原油在庫の積み増し観測を背景に87ドル台まで値を下げていた。しかし、その後は堅調な株式市場を眺めて上伸。株価が欧州市場をはじめ米市場でも寄り付きから大幅に上伸したことから、エネルギー需要に楽観的な見通しが広がった。また、この日の米経済指標も雇用関連指標や景況指数などがまずまずの内容となったほか、7月の製造業受注が上昇したことも支援材料となり、寄り付き前から値を伸ばした原油相場は、89ドル台まで浮上した。ただ、その後はもみ合う展開。EIAが発表した前週までの米原油在庫は前週比530万バレル増と、同38万バレル増との市場予想（ロイター通信調べ）を大幅に上回る積み増しとなった半面、ガソリン在庫は同280万バレル減と、同110万バレル減との市場予想を上回る取り崩しだった。また、米指標を好感したドル買い・ユーロ売りが活発化し、ドル建ての原油相場の圧迫材料となり、引けまで売り買いが交錯した。

TOPICS リビアのNational Oil Corporationの新しい責任者は、リビアの石油生産が元に戻るの15カ月

8月30日リビアの原油生産は、15カ月以内に、内戦前の生産量に戻るとNational Oil Corporationの新しく指名された会長は述べた。生産の再開は数カ月後ではなく、数週間後に始まる。生産量が最大になるのは約15カ月後であるという。リビアは内戦前までは日量160万バレルを生産していたが、7月の生産量は5万バレルだった。

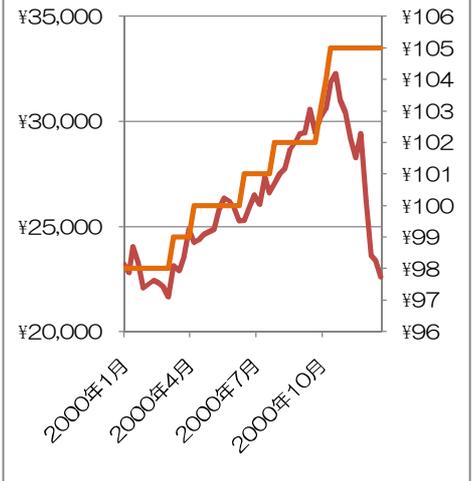


全国平均レギュラーガソリン小売価格と東京工業品取引所の先物価格 (2000年~2011年相関係数0.96)

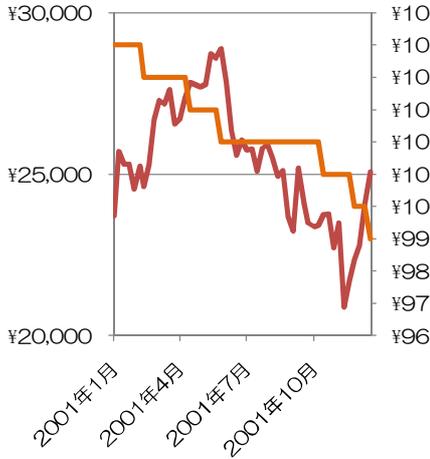


- ★ 2000年からの長い目で見ると、0.96という高い相関関係となっている。
- ★ しかし、個々の年で見ると、まったく小売価格と先物価格が乖離していることもある。
- ★ ことに、この二年は乖離が大きくなっている。

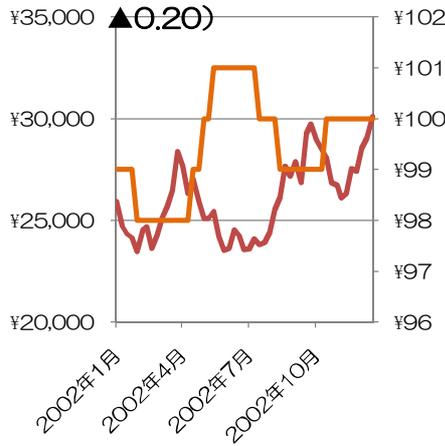
(2000年相関係数0.70)



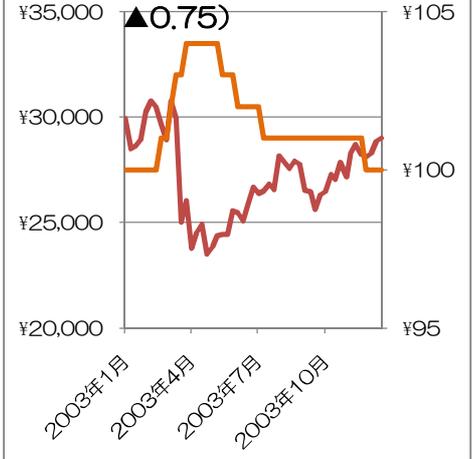
(2001年相関係数0.44)



(2002年相関係数0.20)



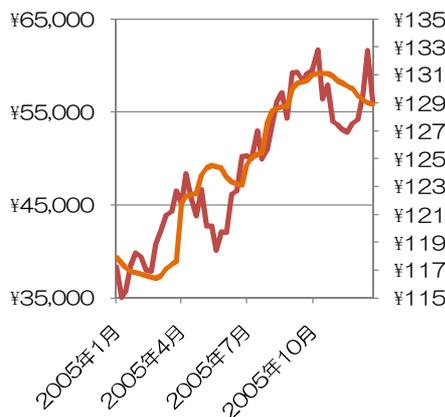
(2003年相関係数0.75)



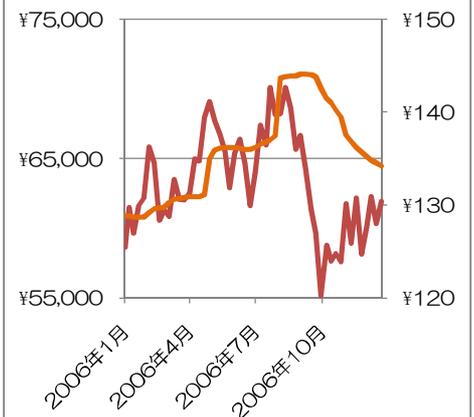
(2004年相関係数0.81)

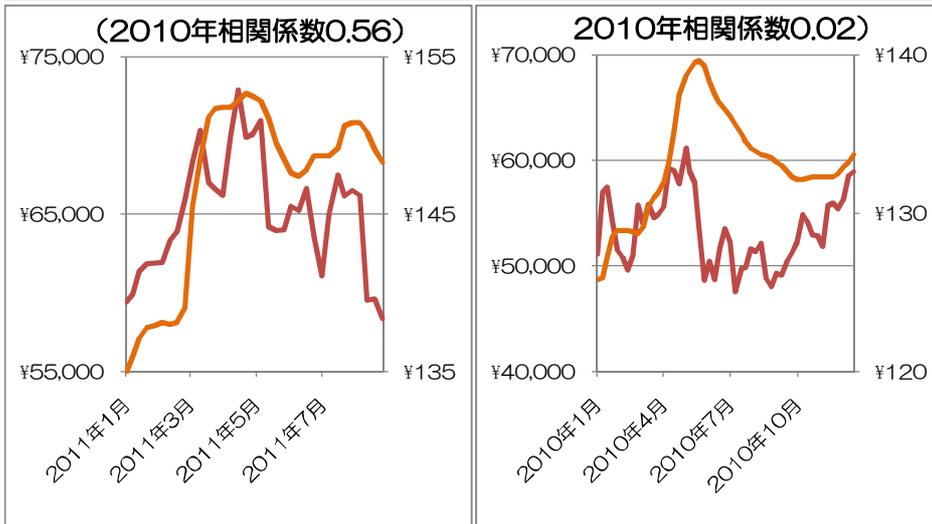
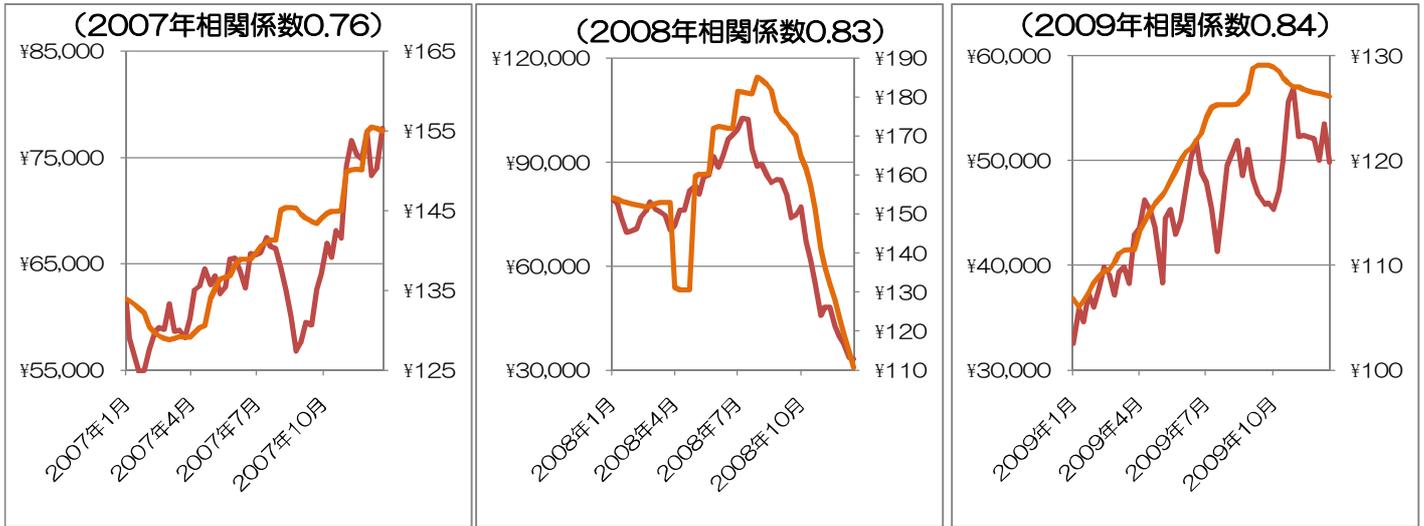


(2005年相関係数0.90)



(2006年相関係数0.11)





レギュラーガソリン小売価格と東京工業品取引所の先物価格の相関係数

2000年	0.70
2001年	0.44
2002年	-0.20
2003年	-0.75
2004年	0.81
2005年	0.90
2006年	0.11
2007年	0.76
2008年	0.83
2009年	0.84
2010年	0.56
2011年	0.02
00年～11年	0.96

- ★ 2000年～2003年頃までは、レギュラーガソリンの市販価格は100円代で安定しており、それほど変動していなかった。そのため、変動の激しい先物価格とはかなり乖離していた。
- ★ 2004年と2005年はかなり強い正の相関関係があった。当時のガソリン市販価格は110円～120円である。
- ★ 2007年から原油価格が急騰し、2008年7月に147.27ドルを付ける間、ガソリン市販価格は190円近くまで上昇したが、この頃は先物価格と市販価格は0.8台でかなり相関している。
- ★ ところが、昨年から今年にかけて、ガソリン市販価格は、先物価格と乖離している。おそらく元売りが適当に価格を付け始めたのであろうと思われる。それだけ、東京工業品取引所のガソリン価格の指標性が薄れたとも言える。



TOPICS ハリケーンの季節 ① アイリーの爪痕



28日ニューヨークを襲ったハリケーンIRENE（アイリーン）は、死者40人、停電や洪水がもたらした。ニューヨークのブルームバーグ市長は、海岸や河岸に近く海抜が低い地域を避難地域に指定し、37万人に「避難命令」を出した。これは「命令」で、強制力があり、メディアは「前例がない」と驚いた。

特に、病院や高齢者の施設などにいる9000人は、避難に48時間かかるとして、25日夜からすぐに避難が始まった。

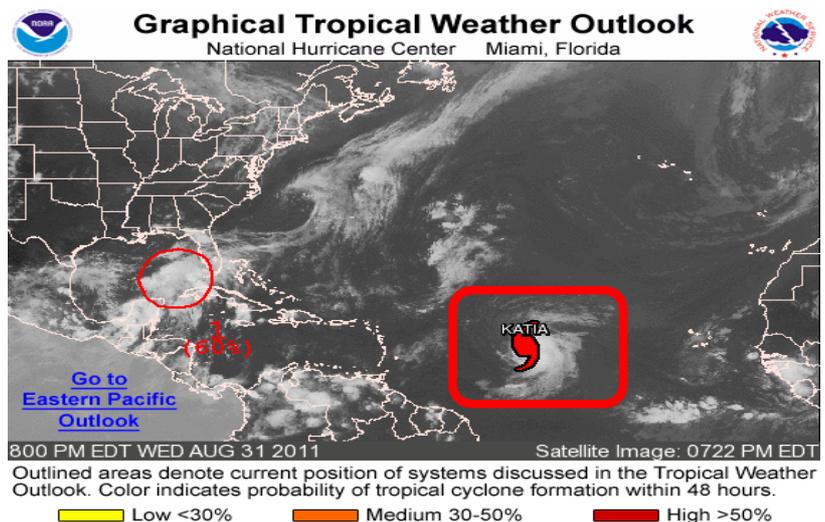
同時にニューヨーク州のクオモ知事（民主党）は、全米最大の地下鉄・バス網を持つニューヨーク市都市交通局（MTA）を27日正午から、史上初の全面運休にすると発表。

アイリーの軌跡



TOPICS ハリケーンの季節 ② ハリケーン " KATIA "

9月1日日本時間午後1時現在、大西洋上には、第12号ハリケーン“KATIA”がバミューダ諸島西方を時速17ノットで北西に進んでいる。中心気圧は987ミリバール。



今後の予想

オバマ大統領が来週初め失業者を減少させるような財政政策を打ち出すと予告している。もしこの政策が景気を回復させるために効果的との印象を市場が持てば、株価は上昇し、景気回復の期待から原油価格やプラチナ価格等、工業品関連商品の価格も上昇する可能性が高い。

一般的には、景気低迷の指標が多く、またリビアが原油生産を回復すれば、OPEC諸国は増産していた分を減産しなければならない。価格を維持するためとはいえ、国家収入が減少するような減産はなかなか出来るものではない。つまり、景気が回復しなければ、原油の需給はジャブジャブの供給過剰となるだろう。

こうした両極端な情報があるが、取りあえずはオバマ大統領の提案を聞いてみたい。

また、ハリケーンの季節である。KATIAはまだメキシコ湾に向かうかどうかかわからないが、その様子が見られれば原油価格は上昇傾向になるだろう。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的財産権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

発行元：



COMMODITY
INTELLIGENCE

株式会社コモディティー インテリジェンス
〒103-0014東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310
会社電話： 03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
メールアドレス： kondo@commi.cc